



# 福島原発事故後の環境回復に向けた新技術の開発

Technical Innovations for Environmental Resiliency after the Fukushima Nuclear Power Plant Accident

2017  
April. 14 **Fri.** 13:30-

福島大学共生システム理工学類募金記念棟会議室

Donation Memorial Building (Faculty of Symbiotic Systems Science)

## 内容 Outline

東電福島原発事故後、日本原子力研究開発機構と共同で福島環境回復に関する研究を進めてきた米国ローレンス・バークレー研究所の村上 (Wainwright) 治子氏によるセミナーを開催いたします。

(1)3次元 $\gamma$ 線カメラの開発、(2)空間線量率のデータの統合、(3)データ・モデル統合のソフト開発、(4)セシウム環境移行のIntegrated Modelingの開発等、各分野のこれまでの成果をご紹介します。

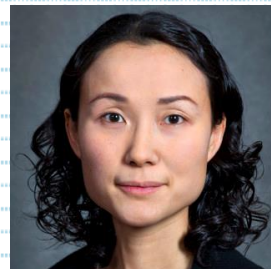
特に、走行サーベイ、歩行サーベイ、航空機モニタリング等数種類の異なる測定方法を用いて定量化されてきた空間線量率分布データを統合し、地上の細かな空間線量率分布を反映しつつ全体的な航空機モニタリングの偏りを補正した統合マップについて詳しくお話しいたします。

言語 日本語  
Delivered in Japanese

講師 Dr. Haruko Wainwright Murakami (バークレー国立研究所)

### プロフィール

京都大学物理工学科卒業後、米国カリフォルニア大学バークレー校で統計学・原子核工学修士、原子核工学博士を取得。水理モデル、空間統計、マルチスケール・データ統合、不確実性解析等が専門。核廃棄物処分、核兵器工場跡地での地下水汚染、福島環境モニタリング、気候変動の環境影響、二酸化炭素地下貯蔵等、原子力・環境工学での多岐にわたる研究を行ってきた。



Contact

福島大学環境放射能研究所  
Institute of Environmental Radioactivity  
at Fukushima University

TEL: 024-504-2114  
MAIL: [ier@adb.fukushima-u.ac.jp](mailto:ier@adb.fukushima-u.ac.jp)